

AUTOMOBILE TECHNIK + DESIGN  
**HAMANN**

### 独自のデザイン感覚と 確かな物作りがリンクする

レーシングドライバードアットリ  
チャード・ハーマンが興し、BMW  
を中心に刺激的なエアロボディとチ  
ューニングプログラムを提供してき  
た「ハーマン・モータースポーツ」  
ヨーロッパはもちろんのこと、世界  
中にファンが広がった。そして日本  
でも多くのユーザーが支持している  
牽引者であったリチャードの死後  
会社の行方はどうなるのかと危ぶま  
れたが、妻であるマリオンとスタッ  
フたちの団結によって、確実な商品  
を世に送り出し続け、新たな雇への  
アップロードも実を結んでいる。数年  
前に新たな社長を外部から招き入れ  
ているが、表には出す経営陣に敵し  
ているという、チューナー・ビジネス

はさまざまな規範や世相、情勢によ  
って大きなうねりに飲み込まれつつ  
あるが、ハーマンは堅固のようだ。  
例えば、創業以来チューニングの  
メインとしてきたBMWに対するフ  
ロクラムはM2やM4といったスポ  
ーツモデルを中心に意欲的なメニ  
ューを展開しているし、このところ勢  
力を伸ばしてきているSUVカテゴリ  
リーにも積極的に開発をしている。  
もちろん車種の取捨選択はあるが、  
ハーマンは複数のメーカーをチュ  
ーニングの対象として成功している数  
少ないチューナーといえるだろう。  
単一もしくは同一グループのメーカ  
ーのみを手掛ける専門チューナーと  
は違い、ターゲットは幅広い。それ  
でも現行車種に対するラインアップ  
を揃えられるのだから、彼らの開発  
力には脱帽するばかりだ。



GERMAN TUNER REPORT

# HAMANN MOTORSPORT

## 伝統を継承しつつ 変革を続ける名門チューナー

ドイツチューナー界きっての名門であり、世界中に熱狂的なファンの多いハーマン  
BMWを軸にしつつ、多角的なプログラムをラインアップしながら  
新たな挑戦を行っているアグレッシブな彼らを直撃した

PHOTO ● Takahiro MASUDA TEXT ● Keisuke KUMASAKI (edip)



Mモデルのメイクこそ、  
「ハーマンチューニング」の真骨頂

F87 M2とF82 M4。この2台は、  
間違いない今のBMWチューニング  
シーンにおけるメインキャストであ  
る。先に発表されたM4は、GTS  
やCSといった限定バージョンが  
M社からリリースされている。例え  
ばシリンダー内の温度を制御して出  
力と燃費の向上を行うツウオーターイ  
ンジェクションシステムはGTSの  
トピックとなる技術だが、それが屈  
けられるのは全世界でわずか700  
人という限られたオーナーのみ。ハ  
ーマンでは手に入られなかった人  
に向けて、同等の冷却システムをテ  
ストしているという。

「購入希望者が殺到したGTSです  
が、購入できない人が非常に多かっ  
た。そこで我々はあのシステムを独  
自に開発してみようということにな  
ったのです」とハーマン・スマネン  
ヤットのシウヴァルツ氏は、シリンダ  
ー内に水を噴射するノズルのみGTS  
と同じものを使用しましたが、それ  
以外の部分はすべて自分たちで作  
りました。ターボで過給する現行BMW  
Wはさらなるパワーを求めると冷却  
が難しくなる。ウォーターインジェ  
クションは冷却に非常に効果的だが  
後付けできるものにはチューニング  
の可能性はかなり広がることだろう。  
エアロやホイール、インテリアパ  
ーツといったオプションも準備され  
ている。BMW、それもMモデルに対  
するフォークスは高い。彼らの脚  
指はやはりBMWとともにあるのだ。



## コアターゲットであるBMWチューニングで 常に最先端を行く



パワーとトルクはそれぞれ99hp/100Nm  
アップとなる530hp/660Nmまで引き上  
げられたM4。スタンダードなM4だけ  
なく、GTSやCS、コンペティションに  
も対応したチューニングプログラムも用  
意されている

1.トランクの床下に新設されたウォーターインジェクションシステム。シリ  
ンダー内に噴射するノズルはハードもソフトも自社設計 2.中央にスリッ  
トが入った大ぶりリアウイング。金属製のステーや翼端板など走りのイメ  
ージをかき立てられる 3.ホイールはM2同様「アニヴァーサリー-EVO」を装備。  
銀色モデルも用意されている 4.ボトムラインを一直線に繋ぐリップガスボ  
ーティなフロントセクション 5.サイドエンブレムはM2同様「カーボン」に  
AWRON製のインジケータを装備。スタートアップではHAMANNのロ  
ゴが浮かぶ 7.パーティカルファンを強くデザインしたリアアンダー。エキ  
ゾーストはカーボン製仕様で、フィンとの相性も良い 8.格好の詰まった  
サイドスカート。前後の大径ホイールをスポーティに覆



最新作となるM2は、シアンブルーをキーカラーに据  
えた若々しい仕上がり。足元はアニヴァーサリー  
EVO、F8.5x20、R10.0x20を装備。ローダウンス  
プリングもしくはサスキットが用意されており、プ  
ラグインのパワーアドバンスメントモジュールもラ  
インアップ。パワーは50hpアップの420hp、トルクは  
65Nmアップの530Nmを発揮する

1.ペダルセットはもちろんのこと、フロアマットやフットレストまで揃うの  
は、純正チューナーならではの、ホイールに合わせてHAMANNのロゴはシ  
アンブルーに 2.純正エンブレムが収まる位置にカーボン製のウイングプレ  
ットが装着されている。ワンポイントで目を惹き付けるパーツだ 3.リアス  
ポイラーはトランクの切れ目で一度段差をつけ、前方に伸びていくように  
デザインされている。ハーマンらしいディテールだ 4.ボトムはディフ  
ューザーが用意されているが、造形の異なる4タイプ用意する 5.エキゾース  
トはセラミックコーティングが施されたマットブラックの4本出し。カー  
ボンやクロームフィニッシュもラインアップ 6.ボルトにもハーマンのエ  
ンブレムが入っている 7.アグレッシブな造形のフロントバンパーとリッ  
プ。M2の熱い走りや伝わるデザインと、M2の熱い走りや伝わるデザインに  
ウイングプレットが装着されている。これもハーマンらしい



1. マシンのカラーパレットは、このボディカラーのハイライト。美しいラインは、ボディラインだけではなくボディもくっきりと一回りする。2. フロントの力強い存在感を、フロントセクションのSUVらしさを維持しつつ、スポーティにデザインされている。3. エアインテークにはLEDのライトが搭載されている。4. 足元にも力強い存在感を演出している。5. エボークの22インチホイールは、オーバーフェンダーとの相性をバッチリと演出している。6. プラギーは、この車種に採用されている唯一の22インチホイール。



HAMANN Motorsport  
**EVOQUE Cabriolet**

現在プラグインモジュールが用意されているのは2リッターディーゼルエンジン (210hp/480Nm) のみだが、近いうちにガソリンエンジン用もリリースされるはずだ。



←20年以上HAMANNに携わるセールスマネージャーのシェヴァルツ氏。以前のリチャードを知るスタッフとして現在ブランドを牽引している。

いかにもHAMANNらしいアクティブな造形が与えられている。エキゾーストやホイール、リアウィングの裏面をマットブラックでコーディネートしているところにも、HAMANNのセンスを感じる。

一方のイヴォーク・カブリオレは、イヴォークやイヴォーク・クーペと同様にオーバーフェンダーを横としたプログラムが施されているが、ルーフがない分、そのワイドさが一層際立つという仕掛け。コンケーブデザインホイールが流行し出す前から存在するホイール「アニヴァーサリーEVO」だが、22インチというサイズゆえに迫力満点。ポリウレタン感のあるフェンダーとのコンビネーションが、しっかりと大地を踏みしめる力強い足元を作り上げている。

ひと目でHAMANNとわかる個性的なボディワークと、美しさを際立つオリジナルホイール、さらにハードなチューニングまで、総合チューナーとしての勢いは増すばかりだ。



HAMANN Motorsport  
**X4 M40i**

プラグインのチューニングモジュールにより45hp/105Nmアップの405hp/540Nmを発揮。スポーツカー顔負けの走りを実現。SUVでもBMWチューナーらしいプログラムを展開している。



SUVカスタムシーンでも強い存在感を放つ作品を提供



1. ポリウレタンを塗布したホイールハウストリム。動的な印象を引き出すデザインだ。2. リアアンダーはMのエアロベースにセンターディフューザーとマフラーカバーを追加するスタイル。デモカーではガラスブラックに塗られている部分がある。3. ホイールはカスタムペイントを施したアニヴァーサリーEVO。ボディカラーを取り入れてコーディネートしている。4. ベダルセットは定番のスタイル。フットレストはイルミでロゴが浮かび上がる仕様。5. ボトムラインを繋ぐフロントリップ。軽めのカナード形状で小振りだがHAMANNらしい造形。6. 大きく開いたリアスポイラー。翼端板のみガラスブラックを塗る。7. マットブラック仕立てのエキゾースト。トップにはもちろんHAMANNのロゴが入る。

人気のカテゴリーもHAMANN流で切り込む

彼らが注力しているのはBMWだけではなく。現在、世界的に盛り上がっているジャンルはやはりSUVカテゴリーだが、HAMANNは初代X5 (E53) からアイテムを用意するなど、その歴史は長い。もちろん今でもHAMANN流のモディファイが行われた魅力的なチューンドモデルを数多く発表している。

得意のBMWのSUV (SAC) では、X4 M40iが最新作となる。ワイドフェンダーや小振りだが印象的な形状をもつエアロパーツなど、